

9/1 朝日

医療費1.4兆円減

昨年度 コロナで受診控え

2020年度の医療費（概算）は42・2兆円で、過去最高だった前年度の43・6兆円から1・4兆円減った。減少は4年ぶりで、「落ちこぼれ」が過去最大となつた。新型コロナウイルスの感染拡大によって患者が受診を控えたほか、マスク着用や手洗いの徹底などによつてほかの感染症が例年ほど流行しなかつたことが背景にあるという。

健保会などの公的医療保険を使って治療した費用や、国が負担する医療費を

厚生労働省が集計して31日に発表した。新型コロナ関連でかかった医療費も含まれているが、それ以上にインフルエンザなどが流行しなかつたことが大幅減につながつたという。

診療科別にみると、産婦人科以外はいずれも減少した。小児科が22・2%減で最大の123兆円（19年度過去最大）が、2019年度に年金や医療、介護などの費用にかかる社会保険給付費は、過去最大の123兆924億円だった。前年度から2兆5254億円（2・1%）増えた。国立社会保障・人口問題研究所が31日公表した。

分野別では「年金」が全体の44・7%にあたる55兆ト」に限った集計データを電子化する「電子レセプト」を

年齢別になると、0～5歳未満の医療費が21・1%減った。病気の分類別では呼吸器系の疾患が25・3%減と落ち込みが大きかった。（滝沢寧）

4520億円で、前年度に比べて0・4%増。「医療」は32・9%にあたる40兆7226億円で、2・5%増だった。最も高い伸び率だったのが「福祉その他」で、5・1%増えて27兆7494億円となり、全体の22・4%を占めた。19年10月から始まつた幼保無償化が影響した。国民一人あたりの社会保険給付費は98万2200円と、前年度から2万2100円増えた。